

入学式

四月に入り、野に山に春の粧いを感じる好季節、先日幼・小・中学校の入学式が行われました。

何と言っても可愛らしいのは幼児、ピカピカの一年生、晴着のお母さん達に付添われ、真新しく黄色い帽子がひときわ目立っていました。

初めての入学に際して

—不安と感激が一ばい—

柿田 岡 田 恵 子

我家のワンパク大将も、この春、小学校入学を迎えることができました。入園の頃は、友だちと仲良く遊ぶ事ができるのだからかと心配でしたが、あれからもう二年がたちました。そして今度は、勉強がみんなについていけるのだからかと心配なのです。まだ、本も読めず、五十音も知らない字が多く最近になり、やっと、自分の名前が書

けるようになったばかりです。こんなことでもいいのだろうかと思う今日この頃です。

子供も、子供ながらに不安なのかもしれませんが、それ以上に親はもっと不安なのです。わが子も一年生、そして親も教育者一年生です。親子共に学び、悩み、互いに励まし合って行ける親子でありたいのです。

そして、健康で、素直に、成長してくれることを願いたいと思います。よろしくお願い致します。

四月から中学生

—楽しい中学生生活を—



下谷 丹 後 真 也

僕は、四月から中学校に入学します。とても楽しみにしています。でも、たくさんのきまりがあるので、守れるかなと心配しています。

たったの三人なので、教室が、がら空きなので、さみしいと思います。

三月にあつた一日入学の時、僕はこわいなと思いました。それは、大きい先ばいがたくさんいるからです。部活では、庭球をやるので、とても楽しみ

にしています。テニスのすぶりと、小学校でやっていた卓球のすぶりが、ちがうのでややこしいです。それから、練習も厳しいので、がんばりたいです。勉強も、むずかしくなるので、がんばりたいです。早く中学校生活になれたと思います。

—頑張ってゆきたい

練習と努力—

飯谷 笹 木 政 志

僕は、中学生になって、勉強を一生けん命がんばりたいです。小学校に比べてむずかしくなると思うので、予習ふく習などは、かならずやるようにしたいです。それとテストの問題も多くなるので、テスト勉強もきちんとやりたいと思います。

その他、部活でもがんばりたいです。はじめは下手だけど、練習を一生けん命して上手になりたいです。

中学校は、小学校よりも人数がかなり少ないし、僕達新入生はたったの三人なので、何でも協力して、努力するよう、がんばりたいです。

— 英語と部活に挑戦 —

八反田 原 田 亜紀子

中学校の勉強はむずかしいと思います。中学校は、勉強が一つふえます。それは英語です。部活は、卓球です。卓球は小学校の時よりもっと練習して強くなりたいたいです。勉強は数学と英語を一番がんばりたいです。一日で習った勉強を復習して予習もしっかりやりたいです。小学校でもテストがあったけど、中学校では中間テストと期末テストがあります。5科目ぐらい出るの、ふつうの日よりもっと勉強しないといけないのでたいへんだと思います。通学は、私は歩いていくので早く起きるのがちょっとたいへんです。中学校は、中間テストや期末テストでいろいろ決まるので、テストには良い点をとりたいです。勉強や部活をがんばります。

5月 少年健全育成指標
スポーツヤ

読書に親しもう

親子読書

大代公民館

— 子供に豊かなイメージを —

— お母さんのお話しは、子供の心の中にかすかに鳴り響く金の鈴です —
(童話作家 椋 鳩十)

非行や人権の話題がしきりです。

その要因はともかく、二十一世紀を担って行く大切な子供達!!

両親はこの子供達の心をしっかりとつかまえて置く事が大切ではないでしょうか。

親子読書は、決して読書指導ではありません。

幼児の一番好きな絵本や、お話しを通して親子の絆をしっかりと結び、成長の過程に於て、非行に走ることにない様な、「心の豊かさ」を身につけさせるのが目的です。

この事から、2、3才の小さい時から始める事が効果を上げて行きます。それには家庭内の協力は勿論ですが、お話しに集中出来る様な、静かな楽しい雰囲気が大切になります。

お話しを聞いている時の子供の目の輝きを決して見逃さないで下さい。

一朝一夕にして効果は期待出来ませ

んが、根気よい積重ねにより信頼も高まり又、幾多の物語りから子供達の夢が育ち、小さい乍らも正しい判断力が自然について来ます。

お父さん、お母さん、一日の生活の中で十分か十五分の読み聞かせ、楽しいふれ合いの時間を造って下さい。

五日は少年の日

— 街頭補導の朝 —



少年補導委員 松 井 幸

○月○日

「お早うございます」

集団登校の子供達、大きく元気な声。いきいきと輝いた目、朝の登校時の子供達の姿は活気に満ち満ちている。一日の始まり、黄色い帽子が躍っている。

「お早う」思わず一緒に手が挙る。この時間帯は通勤の車のラッシュ、過疎の町とは言い乍ら大代町もその影はいささかも感じない様な朝のひと時、

「お早うございます」
と元気な中学生、男の子も女の子も年令を問わず、何のこだわりもなくハッ

キリした朝の挨拶、小学生とは三十分早く部活へ急ぐ自転車の列である。

やがて、歩くのもたどたどしい幼児を見送って来る母親、父親の姿も見え

る。
「今日も頑張って欲しい」

○月○日

雪の朝 路上は八糎程の積雪、高山おろしは容赦なく冷たい雪を伴って吹き荒れる。手袋もしないで、車の轍の跡を懸命にこぐ自転車の列が続く。

「さすが若いね、しかし大丈夫かな」
気をつけて欲しい。事故に会って欲しくない。

「頑張れ、間もなく春だ君達の前途は希望に溢れている」と心の中で叫ぶ。入学試験、そして卒業も間近だ。

ひと時もゆるがせに出来ない今……
「若い時はいいなあ、私も出事る事ならもう一度やり直して見たい。」

然し人生はやり直しは効かない。だから君達、今日の日を、今のひと時をもっともって大切にしたい。

親にとっては、かけがえのない我が子に託す夢は遠大である。そして両親の愛は限りなく君達に無償で与えられ

ている筈である。

期待に込めて欲しい。

二十一世紀に向けて力強く、社会に貢献出来る若者になって欲しい。

役員改選・異動

◇自治会長 (連合会長)

◎下市 永井吉一 副会長

○上市 橋本昭二 本郷 窪田昌三

植松 後藤一夫 山田 坂本勝之

四日市 西本 勤 平 高村賢蔵

椿 田平勝美 上飯谷 武田弘義

柿田 岡田郁男 下飯谷 下垣五枝

川上 渡井秋良 ○弓久 岡田 登

八反田 高村 貢 右原 中垣土夫

◇自治会関係

社協大代支部長 永井吉一

消防後援会々々長 永井吉一 (兼)

幼稚園後援会長 永井吉一 ()

交通対策協議会

会 長 高村賢蔵 (平)

有線放送協会理事 田平勝美 (椿)

◇体育協会関係

会 長 渡利鶴吉 (植松)

副会長 木村幸司 (上市)



副会長 田辺 隆 (平)

◇学校関係 (異動着任)

○小学校教諭 油谷美重 (出雲塩治小)

〃 講師 田中敬子 (能義幼)

○中学校教頭 黒谷達典 (出雲二中)

〃 教諭 白根久美江 (玉湯小)

◇PTA関係

○幼稚園会長 佐藤哲朗 (下市)

〃 副 横田美恵子 (上市)

○小学校会長 森田輝男 (四日市)

〃 副 渡利ミヨコ (山田)

○中学校会長 井谷英美 (平)

〃 副 笹木光夫 (平)

〃 副 竹間初美 (八反田)

※他団体については決定後

おしらせ

◇社協から

大代町四日市 谷口ミサ子様

同 下谷 舟木佐津枝様

香典返しに替えて夫々御寄附を戴きました。厚く御礼申し上げます。

大代町上市 木村豊子 様

入院加療中でしたが先日無事退院されました。その際御寄附を頂きましたので御礼に併せ御知らせ致します。